



2018年10月31日

各位

会社名 株式会社ドウシシャ
代表者名 代表取締役社長 野村 正幸
コード番号 7483 東証第1部
問合せ先 常務執行役員 小柳 伸成
(TEL: 06-6121-5666)

2019年3月期 第2四半期累計期間の業績予想と実績との差異 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

2018年5月7日に公表いたしました2019年3月期(2018年4月1日～2019年3月31日)の第2四半期累計期間の業績予想と、本日公表の2019年3月期 第2四半期累計期間の実績に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

また、通期の業績予想につきましても、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2019年3月期 第2四半期累計期間(2018年4月1日～2018年9月30日)の業績予想と実績との差異

(1) 連結

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	52,500	3,900	3,900	2,700	73円12銭
今回実績(B)	48,477	2,758	2,845	1,861	50円08銭
増減額(B-A)	△4,022	△1,141	△1,054	△838	—
増減率(%)	△7.7	△29.3	△27.0	△31.1	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2018年3月期 第2四半期)	50,426	3,769	3,882	2,645	74円08銭

(2) 個別

(単位: 百万円)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	49,000	3,500	2,400	64円99銭
今回実績(B)	44,157	2,399	1,585	42円66銭
増減額(B-A)	△4,842	△1,100	△814	—
増減率(%)	△9.9	△31.4	△33.9	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2018年3月期 第2四半期)	46,782	3,582	2,543	71円22銭

(3) 第2四半期累計期間の業績予想と実績との差異の理由

第2四半期累計期間の業績におきまして、大規模な地震・台風の発生や記録的な豪雨など相次ぐ自然災害、および個人消費マインドに冷え込みが見られ、販売面で影響がありました。

卸売型ビジネスモデルでは、有名ブランド関連において節約志向の高まりの影響などにより、高額ブランド品の需要には厳しい環境となったことに加え、ギフト関連でも中元ギフトに関して、主にカニ缶などの海産物の減少がアソートギフトに影響を与え、前年同期を下回る結果となりました。

開発型ビジネスモデルでは、テレビ関連でまだ新規のブランドということもあり、売上高が前年同期を下回る結果となりました。

その結果、連結・個別ともに、売上高、各利益が当初予想を下回る結果となりました。

2. 2019年3月期通期（2018年4月1日～2019年3月31日）の業績予想の修正

(1) 連結

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	110,000	8,400	8,500	5,800	157円07銭
今回発表予想(B)	104,000	6,900	7,000	4,650	124円92銭
増減額(B-A)	△6,000	△1,500	△1,500	△1,150	—
増減率(%)	△5.5	△17.9	△17.6	△19.8	—
(ご参考) 前期実績 (2018年3月期)	103,589	7,769	8,001	5,490	151円97銭

(2) 個別

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	102,500	7,700	5,300	143円53銭
今回発表予想(B)	95,500	6,100	4,150	111円49銭
増減額(B-A)	△7,000	△1,600	△1,150	—
増減率(%)	△6.8	△20.8	△21.7	—
(ご参考) 前期実績 (2018年3月期)	96,181	7,405	5,200	143円95銭

3. 業績予想の修正の理由

通期におきましては、第2四半期累計期間の業績動向を踏まえ、業績予想を上記の通り修正いたします。

(注) 上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であります。

従いまして、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上